

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271100841		
法人名	企業 組合 つどい		
事業所名	グループホームつどい		
所在地	沼津市鳥谷5-1		
自己評価作成日	平成24年8月5日	評価結果市町村受理日	平成24年11月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2010_022_kani=true&jigyosyoCd=2271100841-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシメビル6階
訪問調査日	平成24年8月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(1)きめ細かなサービス。(2)医療連携のもと、安心してターミナルケアに臨める。(3)常に職員の質の向上に努める。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

玄関先の小さな庭には秋桜を中心として植物が生き生きと足元を飾ってくれています。また、遠くには富士の山がおおらかに座し、第二東名、東名、新幹線の3本のラインの行き来が利用者の目を楽しませています。「小さな事業所は家族が人を100%信頼してくれている。その期待に100%応えることがモットー」という代表の力強い言葉に家族や利用者だけでなく、職員も支えられています。最初の看取りの際の経験がこの言葉につながり、16名を看取ってきました。決して看取りに同じものではなく、一つひとつの多様な経験が事業所の力の源となっていることが覗えました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員が理解し、日々過ごしていると思う。	職員の申し送りノートの内容を日々確認していて、意識が落ちていると感じた場合は、朝礼訓示で振り返りの機会をつくっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一歩ずつ確実に地域の皆様に近づき、又受け入れて頂いていると実感できる。	近くの珈琲店やコンビニに利用者と出かけ、地域資源を上手に活用しています。地域の祭りに寄付をおこない、また催しに駐車場を確保してもらえ等親交を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	気軽に相談できる場所としての努力を惜しまない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は良好かつ有効に運営されていると思っている	市の担当者は年1回程度の参加ですが、包括の職員には毎回参加してもらっています。地区のリーダーや民生委員等地域の皆さんとご縁ができる貴重な機会として位置づけています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	情報や知識を頂く努力又、発言する努力をしている。	事業所も包み隠さず気持ちや考えを伝えていたためか、市役所の職員もオープンに接してくださるということです。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の尊厳を理解し、常に質の高いサービスに努めている。	「そのときにその人にとって最適な方法は何か」と、常に利用者本位の姿勢で対応しています。そのため防護品を手作りで作製することもあります。	ケースによっては書面を備えるとともに、本件にかかる職員の知識の共有化に取り組むことを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開かれた介護現場の構築 により防止可能と考えている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学び努力する姿勢は、自ら示しつつわかりやすい書面の提供や説明を常に心かけている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に言葉尽くし、心尽くして対応している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部から見えた方には、気になった事があるか、又感じたことなど、教えて頂きたいと常に伝える努力をしている。	日頃の様子がわかるように請求書と一緒に本人写真を送っています。支払は面会時に持参してもらうようにして、月1回は訪問してもらえるよう工夫しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りノートや、申し送りの際の活発な意見交換がある。	代表は発言の最後に必ず「何か意見があったら…」と付け加え、職員の意見があればでてくるように努めています。職員意見は特にないとのことですが、自宅で不要なものを寄付してくれる等自発的な行動がみられます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	小さな現場でできる事は何か、離職がない為の努力を常に心かける。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員レベルに合わせた介護現場と声かけに心がけ、自信につなげる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	積極的に参加 交流している 受け身ではなく、働きかける側になれるよう努力をしていきたい。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	細かな観察や声かけをしつつ、不安を取り除き、いごこちの良い場所づくりを早期にできる努力を惜しまない。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話をよく傾聴し、提案や 方向性を示す。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	優先順位を決め、一つずつ努力していく。今できる事は何かを常に求める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一つの家族であると思っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	私共にできない唯一の事は、家族との係りと考え、努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に出入りできる雰囲気や、いごこちの良い時間作りに努める。	かかわり過ぎない、かつ間をおきすぎないことを心掛け、訪問のリピータを増やすよう努めています。移動美容室や介護相談員など家族や友人以外の訪問もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	丸テーブルは私共の一つのこだわりであり、有効利用しながら調和のとれた生活ができるよう心がける。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族から近況報告を頂いたり季節の挨拶など大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	正確な思いを受け止める事が大変困難な方もある中、表情や笑顔から思いをくみとるよう努める。	丸いテーブルを囲んで、それぞれが想いおもいのことをおこなう様子を視認しました。百人一首やバランスゲーム、読書等に取り組む利用者それぞれに職員が呼応し、個々の興味を集団に上手に反映させていました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や、会話から把握する努力。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当を決め、深く関わる事で個々の特性を良く理解できる。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議等を有効に活用できている。	担当制をしいています。プランを把握したケアサービスができていないか否かを代表が確認していて、できていないと思われた場合は速やかに正しています。すぐに確認できるよう共用空間にプランを置いています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有は常に心かけている。介護の質の向上も常に話し合いがなされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	細やかなサービスの提供ができるよう努力する姿勢。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個別に対応できている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	安心して頂ける医療構築の努力、良好な関係であるよう努力している	終末期のことを考慮してほとんどが事業所の協力医に替っています。2週に1度医師が、1週に1度看護師の訪問があります。身体の不自由な人も着席で計測できる体重計も備えていて、健康管理への配慮が厚いことが観えました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診記録、訪問看護記録はわかりやすくできている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	十分に機能している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	十分な説明と支援体制が整っている。	ドクターコールで夜中でも30分で駆けつける医師との連携が整っています。看護師も常に訪問のある事業所のため、利用者の安心に繋がっています。16名のお見送りをしてきたとの言葉からは、安心感を覚えました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	細かな観察を心がけ、十分対応可能な体制作りをしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自治体との協力体制。避難方法など、準備・訓練できている。	年2回の訓練を毎回想定を替え、取り組んでいます。食糧や水も備えています。地域の防災訓練に参加できていませんが、避難経路については代表が実地確認し、職員には説明しています。	近隣の事業所訓練への参加は立地上難しいとのことですので、地域の防災訓練には継続の参加を期待します。また、家族との連絡網ならびに方法の整備等への取組もお願いします。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護保険法を順守すること。そのうえで、十分配慮することができると考える。	相互に言いやすい雰囲気づくりを心掛けていて、職員間で注意し合える風土があります。時には代表自身が注意を受けることもあり、素直に改善することを大切に考えています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけの大切さ。仕事に追われない環境の中、余裕のある姿勢が生まれる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	手先の仕事ではなく、心を込めた仕事の中で、寄り添うサービスが生まれるものと思う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔、着やすさ、その人らしさを心かけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感を大事にし、食器、食材、色など、大事なことで、とらえている。	1日の介護の流れを検討し、昼食は11時としています。器は保管場所に困るほど用意があり、メニュー毎に映りのよいものを選んでいきます。オムライスで顔をつくるなど、職員自身も楽しみながら取り組んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日チェック表で確認できるようになっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各人に適したケア方法や用品を使用している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	パッド数を減らし、トイレやPTイレ対応。又誘導を話し合い、実行する現場がある。	無理・無駄のないトイレ誘導に取り組み、パットの適正使用に努めていて、家族負担を考慮しています。在宅から下剤使用だった利用者也事業所のセンナ茶で自然排便がスムーズになっています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で管理し、食事や散歩、センナ茶、ヨーグルト等十分機能していると思う。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	安全な体制を心がけ、安心して入浴できる努力。好みの時間や温度に添える余裕をもつ。	週2日をめやすにしていますが、希望があればいつでも応じることができます。ただし、時間帯は午後からと決まっていて、選ぶことはできません。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	清潔を心がけ、室温調整、換気などに注意している。香りも大切な要件ととらえている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	共有できている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個性を大切にしながら調和のとれた生活が送れるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩コースにも恵まれているので、その日の体調天候に合わせ支援する努力を惜しまない。	「会話や四季を楽しむ」ことをモットーとし、距離や時間をめやすにしない散歩に取り組んでいます。散歩では近くの珈琲店やコンビニに寄ることもあります。回転寿司等外食には2ヶ月に1度出かけています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出の際などを利用し、触れる、使うなどを行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人差はあるが、支援する努力は怠らない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に生活を欠かさず、明るい清潔な空間、室温や換気など十分注意し、快適に過ごせる努力や工夫を怠らない。	モノがあった場所に帰納していて、5Sが行き届いています。壁には絵画、テーブルには生花があり、生活を楽しもうとしていることが観えます。温度調節をこまめにしていて、利用者は風邪ひとつひくことはありません。水の宅配による給水器も設置しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの今を大切に。明日につなげる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物は、自宅から持参して頂いて、清潔で使いやすい居室作りを心かける。	開設当初はベッドも持ち込んでもらっていましたが、現在は大半を事業所備え付けの介護ベッドに切り替えています。ぬいぐるみや時計、整理タンスなど自宅からベッド以外の多様なものを持ち込めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できる力を大切に、きめ細やかな援助を心かける		